



伊豆市立中伊豆中学校 学校便り

中 中 通 信

校訓 努力は必ず報われる

1 月号

文責 樋口正則

種をまく人

校長 相馬 美樹子

日本中に感動と希望をもたらしたラグビーワールド

カップ。私は「なぜ、ゴールではなくトライなのか」と不思議に思いながらテレビに釘づけになりました。ラグビーの持つ「品位、情熱、結束、規律、尊重」という5つの価値や、7カ国の異なる文化や背景をもつ選手たちが互いにリスペクトし目標を共有する姿は、まさしく公立学校の多様性と可能性に通じ、「学校を換える」ことはできないが「学校を変える」ことはできると。

3年生杉本友菜さんが全日本中学校英語弁論大会出場前、市長表敬訪問時に「塾に行っていますか」と質問され「学校の勉強だけです。先生方が一生懸命指導してくださいました」と答えた声に全教職員の顔が浮かんできました。よさを伸ばす生徒理解、活動の工夫等指導力向上のために学びつづける姿です。魅力的な授業が拓いた可能性に「教育とは生き方の種蒔きである」という言葉が重なります。

今年も多くの保護者の皆様の前で開催された2年生の立志式。一人一人が14年間で振り返り、生徒なりに人生の指針になる言葉を選び、ステージに登壇し、体育館に響き渡る声で宣言する姿に胸が熱くなりました。背中を押す勇気は、いつも傍らで寄添い励ます担任の先生方をはじめ家庭や地域の皆様が応援団としてかかわる「チーム中伊豆」の温かさ。小さな芽はやがて根を張り、花を咲かせ実を結び、種を造る。卒業生の杉本陽哉さんの甲子園出場の報に湧き上がった大歓声。挨拶運動やマメザクラの育苗で静岡新聞主催の「ふるさと貢献賞」、井上靖コンクールの「ふるさと賞」受賞など上級生の蒔いた種が、学校全体の伝統となり下級生に引き継がれた1月、寒さの中で校庭の桜が咲き始めました。トライ、トライ、トライ。挑戦こそ、未来のための種。3年生一人一人の花が色とりどりに咲いた学校生活が人生のよき土壌となることを願います。

第57回中伊豆中学校卒業式は、令和2年3月19日49名の卒業生が巣立っていきます。

決意を新たに(2年立志式)

16日木曜日、2年生が立志式を行いました。立志式とは、武士社会で行われていた元服を元に、人生の通過点として執り行いました。元服では、この日を境に社会から一人前の大人として認められ大人の仲間入りを、大きな節目の行事でした。この日は、入学や卒業のように2年生の門出の場として、それぞれが高い志をもって生活していこうと一人一人が誓いを書いたため発表しました。

校長先生からは、「命は宝物」「夢を持つ」事の大切さを、中伊豆中学校卒業の漫画家中村光さんの話を交えながらお話し下さいました。



一人一人の決意表明に続いて、紙切り作家の水口千令先生をお招きし、切り絵の制作を交えながら講演をしていただきました。水口先生は「何か一つのことを始めようとするとき、とても勇気がいる。その勇気を絞り出さないと何も始められない。」「努力を積み重ねることが大切。」等のお話をして下さいました。



生徒の感想から

- ・門出という意識を持って臨むことができた。大勢の前で決意表明をするのは少し緊張したが、将来に向けて覚悟を決めることができた。 鈴木高德さん
- ・自分の決意の言葉を皆の前でいえたので、より自分が目標とする言葉に向かって頑張ろうという気持ちになりました。 青木桜子さん
- ・水口先生が「人が笑顔になってくれるのがうれしかった」と言っているのを聞いて、私も何か自分だけのできる事を見つけて、たくさんの人を笑顔にできるようにしたいと思いました。 佐藤柚季さん

夢の実現へラストスパート

3学期も始まり、3年生にとってはいよいよ勝負の時が近づいてきます。自分の夢を実現するための第一歩を踏み出すための受験勉強が佳境にさしかかっています。3学期に入り3年生は朝の時間や昼休みに教室や学習室・図書室等を使い、教科の先生に聞いたり友達同士で教え合ったりする真剣な姿を毎日見ることができます。まさしく校長先生のお言葉通り「受験はチームワーク」を実践している姿です。公立高校受験日までこの努力を積み重ねることができれば、きっと夢に一步近づけますね。



中伊豆小との交流



先日14日に小学校の環境委員さんが、委員会活動で大切に育ててきたパンジーやデージー等の花の苗を持ってきてくれました。小学校の代表児童からの「委員会活動で大切に育ててきました、中学校で植えて下さい。」の言葉に続き、3年生の環境委員が受け取りました。その後、早速グラウンド前の花壇に移植しました。中伊豆中学校区ではこれまでも様々な場面でこども園・小学校・中学校の連携を進めてきました。今後もあいさつ運動や学習の場面においてよりよい連携・交流を続けていきたいと思います。



ふるさと伊豆の守り人として (ふるさと貢献賞受賞)

学校では、交通安全あいさつ運動を毎朝行っています。この取り組みは36年前から続けられてきています。また、枯渇が著しい天城山皮子平のマメザクラの育苗・植生にも取り組んできました。これらの活動は、先輩方から間断なく脈々と受け継がれてきたものです。この度、これまでの活動が認められ、公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団等が主催する「ふるさと貢献」を受賞することができました。25日に授賞式が行われ、2年生3名が授賞式に出席してきました。これからも、自分たちのふるさと伊豆を守るために、地域の方々と協力しながら活動を続けていきます。

また、26日には、井上靖コンクールの授賞式も行われ、2年生の鈴木高德さんの感想文と佐藤綺音さんの風景画が「ふるさと賞」を受賞し、表彰されました。ふるさとの偉人を通してふるさと伊豆を振り返る良い機会となりました。



災害への備えはできていますか

南海トラフを起因とする地震が懸念されるようになりしばらく立ちますが、それぞれのご家庭で災害に対する備えは進んでいますでしょうか。

先日「教師(大人)がいない場面で、自分の命を自分で守るために正しい行動をすることができるか」を目的に、緊急地震速報を利用し、昼休みに抜き打ちでの避難訓練を行いました。それぞれに課題が浮かび上がってきたようです。登下校中や外出時、慌てず最良の避難ができるよう常に心がけていきたいものです。ご家庭でも、ぜひ避難場所の確認等を含め再度話をしていただきたいと思います。

インフルエンザ流行警報発令中

年明け早々から、近隣の学校でインフルエンザ流行に伴う学級閉鎖の報告が多数寄せられるようになりました。お子様の朝の様子を見ていただき、体調が優れないときには「無理をして学校に来ない」判断をし、感染拡大防止にご協力願います。

